

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	不妊症・不育症支援事業			事業番号	014-012
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.2
		寄与するKPI	有	取組	妊娠期からの保健指導と乳幼児健診の実施		
3	事業開始年度	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—

3	事業開始年度	平成 24 年度	点検年度	令和 7 年度
---	--------	----------	------	---------

4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	少子化対策プラスワン、次世代育成支援対策推進法、少子化対策基本法
---	-----------------	----------------------------------

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	・市内在住の不妊症に悩む夫婦 ・市内在住の不育症に悩む夫婦
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	不妊症・不育症に悩む夫婦が、適切な時期に適切な治療を選択することができるよう支援する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・助産師や不妊カウンセラーによる不妊症・不育症相談を実施する。 ・同じ悩みを抱える方同士の交流や情報交換の機会として交流会を実施する。 ・支援者を対象に、知識とスキルの向上を目的に講演会を実施する。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 不妊症・不育症相談件数	件	目標値	12	11	11		11
		実績値	12	7			
		達成率	100%	64%			
当該指標を選定した理由		当事業における個別相談件数。					
目標値の設定根拠・算出方法		(R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響も考慮し)相談実績数と妊娠届出数の推移をふまえて設定。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12 保健センターにおける不妊症・不育症に関する相談件数	件	目標値	309	274	334		
		実績値	286	349			
		達成率	93%	127%			
当該指標を選定した理由		当事業の周知機会であり最も身近な地域の相談窓口である保健センターにおいて実施した個別相談件数。					
目標値の設定根拠・算出方法		相談実績数と妊娠届出数の推移をふまえて設定。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	不妊症・不育症支援事業	事業番号	014-012
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	303	165	303	57	309
13 財源内訳					
国支出金	101	82	151	28	154
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	202	83	152	29	155
14 人件費 (b)	1,312	1,134	984	984	984
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,615	1,299	1,287	1,041	1,293

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	謝礼金	R2	決算	46	23	会場借上料	R2	決算	0	0
		R3	予算	200	100		R3	予算	20	10
	普通旅費	R2	決算	0	0		R2	決算		
		R3	予算	33	17		R3	予算		
	消耗品費	R2	決算	11	6		R2	決算		
		R3	予算	20	10		R3	予算		
印刷製本費	R2	決算	0	0		R2	決算			
	R3	予算	8	4		R3	予算			
通信運搬費	R2	決算	0	0		R2	決算			
	R3	予算	28	14		R3	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
17 ① 不妊症・不育症支援者対象講演会	人	31	0
② 上記①にかかる年間経費	千円	100	0
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	3,226	
備考 (算出についての説明等)	R2年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止とした。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>支援者を対象とした講演会について、R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団を対象とする講演会の実施を中止としたため評価できず。個別相談形式で実施している相談事業については、緊急事態宣言期間等は一時中止をし例年より実施回数が減少した。</p>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>不妊症医療費助成制度は、R4年度以降の保険診療化等医療体制が変更することから、治療が一般的になるに伴い、相談件数の増加が見込まれる。また、不育症に関しても、検査費用助成制度の開始と合わせ相談件数の増加が見込まれ、身近な場で正しい情報の収集と相談の機会を提供する意義は非常に大きい。合わせて相談を担っている各区保健センターは、平時から特定不妊治療助成制度の窓口でもあることから相談窓口として認識され大きな役割を果たしている。</p>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------